

東かがわ市社会体育施設等
マネジメント基本計画
(概要版)



平成 29 年 3 月

東かがわ市

1 計画の位置づけ等

(1) 位置づけ

東かがわ市社会体育施設等マネジメント基本計画（以下「本計画」という。）は、上位計画である「東かがわ市基本構想」の将来像（～みんなでつくる 愛着を持って いつまでも住み続けたい 自慢のまち 東かがわ～）の実現に向けて、「東かがわ市公共施設等総合管理計画」で設定した公共施設等の総合的な基本方針を踏襲し、社会体育施設等における評価・分析、見直し等を円滑に遂行できるマネジメント計画を策定するものです。

なお、「東かがわ市社会体育施設等整備構想」では、各スポーツセンターの整備方針が提示されているとともに、各施設においても「継続」「改修」「廃止」等が示唆されていることから、これらを十分に踏まえ、社会体育施設等の最適化に向けた方針を定めるものとします。

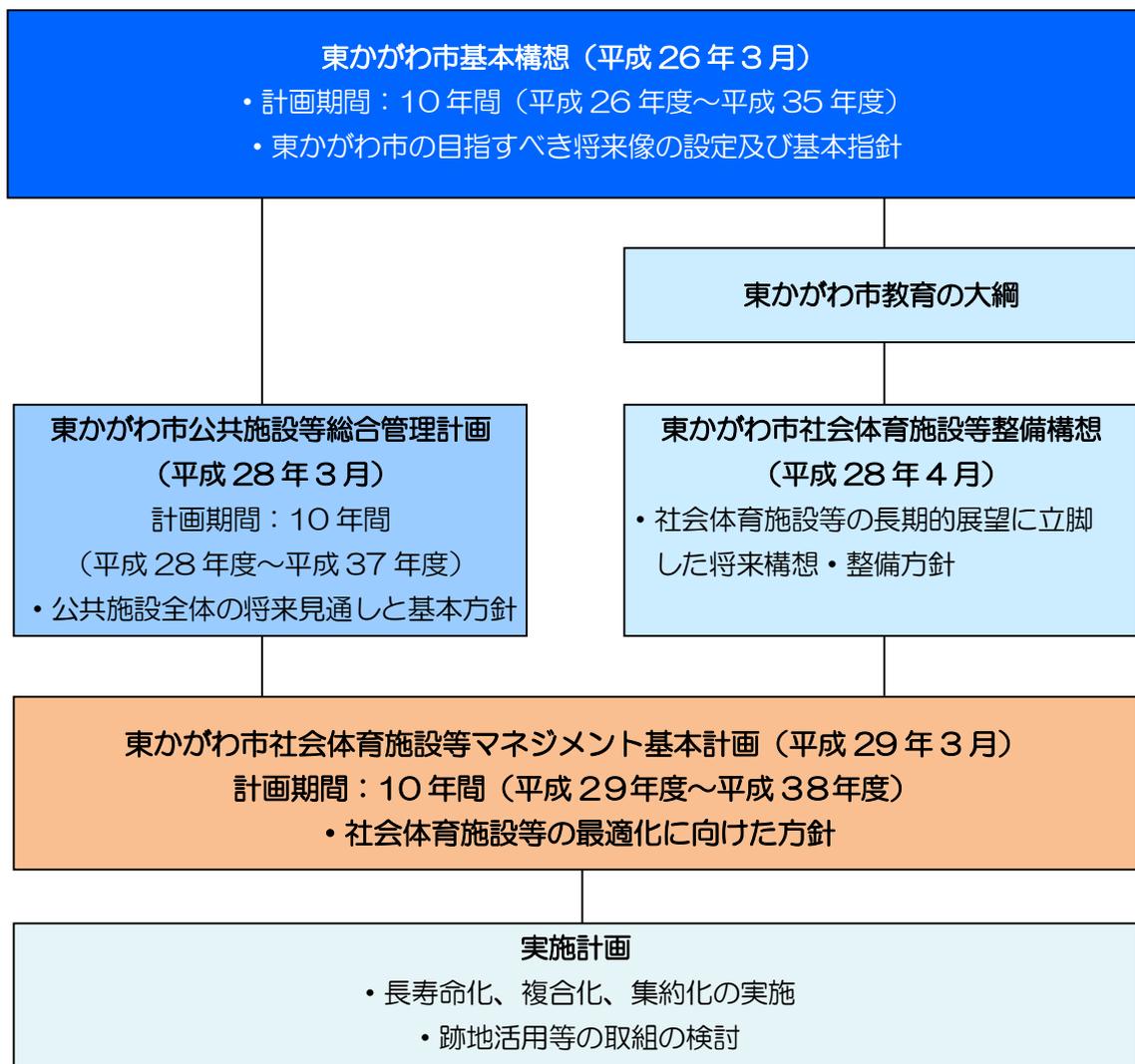


図 東かがわ市社会体育施設等マネジメント基本計画の位置づけ

(2) 計画期間

本計画の計画期間については、「東かがわ市公共施設等総合管理計画」の計画期間との整合を図りつつ、平成 29 年度から平成 38 年度までの 10 年間とします。

しかしながら、人口動態、財政状況等を勘案しながら、必要に応じて適宜見直しを図るものとします。

(3) 対象施設

本計画の対象となる社会体育施設等については、以下の施設とします。

なお、同様な機能を有する施設として体育館、テニスコート、運動広場・野球場、ゲートボール場があります。

また、白鳥スポーツセンターに立地するしろとり研修センター、白鳥本町コミュニティセンターや大内スポーツセンターに立地するキャンプ場等の施設も含むものとします。

表 東かがわ市社会体育施設等マネジメント基本計画対象施設一覧表

分類	施設名称	構造	競技	付帯施設	建築年 (和暦)	築年数
引田 ス ポ ー ツ セ ン タ ー	引田飛翔体育館	RC2F	バレー、バド、バスケ	1F ステージ(放送室)、会議室、トイレ 2F シャワー付き更衣室	H2	26
	引田体育館	RC	バレー、バド、バスケ	トイレ、用具庫	S50	41
	小海体育館	RC	バレー、バド、バスケ	調理実習室、会議室(和室)、器具庫、更衣室、トイレ、駐輪場	H4	24
	引田運動公園テニスコート(人工芝)	砂入り人工芝、4面		クラブハウス(木造平屋)163㎡	H4	24
	引田テニスコート(クレイ)	花崗土、2面		壁打ち、トイレ、倉庫	S59	32
	引田運動広場	花崗土、一部フェンスあり	少年野球、グランドゴルフ	倉庫、トイレ2	S62	29
	引田野球場		野球、ソフト等	観覧席、本部席、ダッグアウト、倉庫、放送設備、トイレ、夜間照明設備	S59	32
	温水プール(増設含む)	RC平屋	25mプール、幼児用プール、歩行者専用プール、ジャグジー	駐輪場	H8	20
	パークゴルフ場	天然芝張、18ホール		トイレ、レストハウス	H21	7
	武道館	RC2F		駐輪場	H5	23
ゲートボール場(クレイ)	2面			H5	23	
白鳥 ス ポ ー ツ セ ン タ ー	白鳥中央公園体育館	RC2F(一部鉄骨)	バレー、バド、バスケ(ポイント)		H2	26
	テニスコート(人工芝)	全天候型砂入り人工芝、4面		クラブハウス(RC)109.53㎡	H4	24
	グラウンド(多目的広場)	花崗土、照明塔鉄骨造り21.7㎡	多目的	バックネット、ダッグアウト	H1	27
	親水公園		遊歩道・ピオトープ		H2	26
	野外ステージ・野外ステージドーム				H5	23
	バーベキュー棟・炊飯棟				H5	23
	人工スキー場管理棟	鉄骨			H6	22
	しろとり研修センター				H15	13
	白鳥本町コミュニティセンター				H8	20
大内 ス ポ ー ツ セ ン タ ー	とらまるてびくろ体育館	RC2F	バレー、バド、バスケ、ハンド等	サブアリーナ	H3	25
	テニスコート(人工芝)	全天候型砂入り人工芝、6面		クラブハウス(木造コンクリート平屋)121.62㎡	H3	25
	グラウンド(多目的広場)	花崗土	多目的	用具倉庫(鉄骨造)200㎡	H6	22
	大内野球場		野球、ソフト等	管理棟60㎡、バックネット、観覧席、ダッグアウト、夜間照明設備	S55	36
	ゲートボール場(人工芝)	2面			H4	24
	キャンプ場管理棟				H5	23
	キャンプ場浴室棟				H5	23
	キャンプ場炊飯棟				H5	23
	冒険の森(アスレチック)				H5	23
	ファンシープラザ時計塔				H4	24
	人形劇場とらまる座				H4	24
	ミニチュア児童遊館				H4	24
	とらまる人形劇ミュージアム				H15	13
	とらまる図書館				H4	24

注：建築年は「東かがわ市社会体育施設等整備構想」における資料等を参照した。

2 社会体育施設等の評価手法の検討

(1) 評価の考え方

評価の分析方法については、2軸（縦軸と横軸）を用いたポートフォリオ分析によるものとします。

「機能・サービス」に関する評価については、サービスの供給の状況やどの程度のコストとなっているかといった「供給・財務の視点」で行い、「建物」に関する評価については、建物の状態、性能等といった「品質の視点」で行うこととします。

なお、「供給・財務の視点」を縦軸とし、「品質の視点」を横軸として、それぞれの項目に対する偏差値の平均（50）以上の項目数にて、判断します。

その結果、以下のA～Dのどのエリアに属するかによって、評価するものとします。

例：「品質の視点」において、偏差値50を超える項目が2つ、50を下回る項目が1つであれば、AまたはCの領域。一方、「供給・財務の視点」において、偏差値50を超える項目が1つ、50を下回る項目が2つであれば、CまたはDの領域。

以上のことから、評価はCとなります。

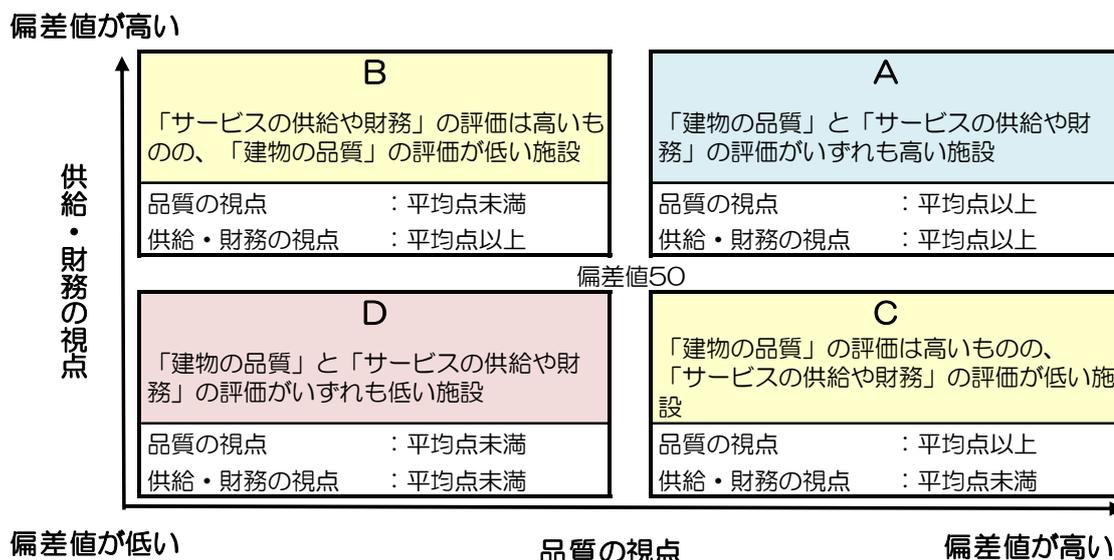


図 評価方法のイメージ

(2) 評価項目

1) 一次評価

同様な機能を有する施設（体育館、テニスコート、運動広場・野球場、ゲートボール場）の場合には、一次評価を行います。なお、定量的な評価を実施するために、評価の項目を以下のように設定します。

しかしながら、現在「引田スポーツセンター」「白鳥スポーツセンター」「大内スポーツセンター」は、指定管理を行っており、財務関係は3スポーツセンターごと一括となっていることから、今回は、「財務」を除いた項目で評価を行うものとします。

表 社会体育施設等の評価項目（一次評価）

評価軸	分類	評価項目	評価の内容
品質の視点： 横軸	品質	築年数	現在一 建築年
		耐震化	建設年が1981（昭和56年）以降で新耐震基準による建築であるか※ $l_s \geq 0.7$ 、 $q \geq 1.0$ を満足しているか
		劣化度調査	劣化の状況を健全度で表示 ※1：全体的に劣化が激しい、著しく劣化している箇所が見られる 2：劣化がみられるものの、部分的である 3：劣化がほとんどみられない
	品質の偏差値		
供給・財務の 視点：縦軸	供給	利用者数	
		1㎡当たり利用者数	利用者数÷面積（延床面積等）
		施設の稼働率	施設の貸出日数÷施設開館日数
	財務	1㎡当たり市負担額	(支出合計－収入合計)÷総延床面積
		利用者1人当たりの市負担額	(支出合計－収入合計)÷利用人数
供給・財務の偏差値			

注：上記の項目の偏差値を求め、それらの偏差値が平均の偏差値と比べて評価します。

偏差値は、学力偏差値と同様の手法にて同種の施設（体育館、テニスコートなど）単位で算定します。

l_s とは、構造耐震指標といわれ、当該建築物に耐震性があるかないかを計る指標です。

q 値とは、保有水平耐力に係る指標といわれ、地震や風などの水平力に対して、当該建築物が耐えることができる強さをあらわした指標です。

2) 二次評価

一次評価では、定量的な偏差値を用いて相対的な評価を行うこととしています。しかしながら施設が1つしかない（温水プール等）場合は、評価ができず、また、評価しても全ての施設が平均以上という結果にはならず、いずれかの施設が平均以下となってしまいます。そのため、一次評価を補完する目的で、定性的な二次評価を実施します。

また、施設によっては利用人数や自由に利用できるため稼働率が算出できない施設もあります。そのためにも定性的な二次評価を実施し、総合評価とすることとします。

表 社会体育施設等の評価項目（二次評価）

大項目	中項目	評価項目	備考
安全性	ハザードの状況	立地場所は浸水想定区域、災害危険区域等になっているか	建物の評価
機能性	バリアフリーの状況	バリアフリー化がされているか	機能・サービスの評価
利用性	利用の状況	利用が増える見込みはあるか	機能・サービスの評価
	他機能の状況	避難場所、避難所等の他の役割を担っているか	機能・サービスの評価
代替性	類似施設の状況	類似施設が市内、利用圏域内にあるか	機能・サービスの評価
	民間施設施設の状況	民間施設等で代替することができるか、民間のノウハウを活用できるか	機能・サービスの評価
拠点性	機能集積の状況	施設等が都市計画区域マスタープラン等における拠点内に立地しているか又は施設自体が都市計画区域マスタープラン等における拠点等に位置付けられているか	建物の評価 機能・サービスの評価

(3) 総合評価

表 一次評価、二次評価の総括

項目	構造	付帯施設	建築年 (和暦)	築年数 ※2016年ま まで	面積計 (㎡)	平均利用者数 (人) ※H24~H27 年度	1㎡当たり利用 者数 (人/㎡)	平均稼働率 (%) ※H24~H27 年度	一次評価			二次評価						
									(建物の評 価)	(機能サー ビスの評 価)	総合	安全性	機能性	利用性 (利用者の動向)	利用性 (他機能)	代替性	拠点性	
																		(建物の評価)
引田スポーツセンター	引田飛翔体育館	RC2F	1F ステージ(放送室)、会議室、トイレ 2F シャワー付き更衣室	H2	26	1,838.50	18,479	10	89	3	1	C	津波浸水、河川(湊川)浸水、ため池浸水、土砂災害警戒区域のハザードによる影響はない。	入口にスロープあり	利用人数は減少傾向にある	・運動会等の行事が開催されている。 ・広域避難場所に指定されている。	都市計画区域外に位置し、拠点区域外に立地している。	
	引田体育館	RC	トイレ、用具庫	S50	41	1,048.65	9,231	9	70	0	0	D		入口にスロープなし	利用人数は減少傾向にある	—		
	小海体育館	RC	調理実習室、会議室(和室)、器具庫、更衣室、トイレ、駐輪場	H4	24	691.13	5,171	7	56	3	0	C	土砂災害警戒区域に該当している。	入口にスロープあり	利用人数は減少傾向にある	・体操教室等の行事が開催されている。 ・広域避難場所に指定されている。		
	引田運動公園テニスコート(人工芝)	砂入り人工芝、4面	クラブハウス(木造平屋)163㎡	H4	24	2,595.30	4,809	2	77	2	2	A		クラブハウスへのスロープあり	利用人数は増加傾向にある	・中学校テニス部の練習でほぼ毎日使用されている。		
	引田テニスコート(クレー)	花崗土、2面	壁打ち、トイレ、倉庫	S59	32	1,625.40	1,631	1	35	1	0	D			利用人数は減少傾向にある	—		
	引田運動広場	花崗土、一部フェンスあり	倉庫、トイレ2	S62	29	6,057.00	5,259	1	52	1	1	D		身体障がい者用トイレとは段差がある	利用人数は減少傾向にある	—		
	引田野球場		観覧席、本部席、ダッグアウト、倉庫、放送設備、トイレ、夜間照明設備	S59	32	10,759.28	6,962	1	82	1	1	C	津波浸水、河川(湊川)浸水、ため池浸水、土砂災害警戒区域のハザードによる影響はない。	観覧席にスロープ等がない	利用人数は減少傾向にある	・中学校野球部の練習でほぼ毎日使用されている。 ・災害時の応急仮設住宅の候補地となっている。		
	温水プール(増設含む)	RC平屋	駐輪場	H8	20	1,294.82	41,779	32	100					入口にスロープあり	利用人数は減少傾向にある	・中学校水泳部の練習でほぼ毎日使用されている。		
	パークゴルフ場	天然芝張、18ホール	トイレ、レストハウス	H21	7	17,390.00	18,685	1	97						利用人数は増加傾向にある	—		
	武道館	RC2F	駐輪場	H5	23	869.41	13,381	15	96	3	2	A		入口にスロープあり 玄関(かまち)に段差がある	利用人数は減少傾向にある	・中学校剣道部の練習でほぼ毎日使用されている。 ・広域避難場所に指定されている。		
ゲートボール場(クレー)	2面		H5	23	1,120.00	2,555	2	70	1	3	A			※利用人数不明	—			
白鳥スポーツセンター	白鳥中央公園体育館	RC2F(一部鉄骨)	1F ステージ、トレーニングルーム、シャワー室、トイレ、更衣室 2F 会議室、放送室	H2	26	2,245.61	28,469	13	100	3	3	A		入口部に段差はない	平成26年から平成27年にかけては増加傾向にある	・中学校バドミントン部の練習でほぼ毎日使用されている。 ・広域避難場所に指定されている。	都市公園(地区公園)として整備されているが、拠点区域外に立地している。	
	テニスコート(人工芝)	全天候型砂入り人工芝、4面	クラブハウス(RC)109.53㎡	H4	24	2,900.00	5,248	2	88	2	3	A		観覧席にスロープ等がない	平成26年から平成27年にかけては増加傾向にある	・中学校テニス部の大会前の練習で使用されている。		
	グラウンド(多目的広場)	花崗土、照明塔鉄骨造り21.7㎡	バックネット、ダッグアウト	H1	27	16,500.00	8,066	0	54	2	0	C			利用人数は増加傾向にある	・災害時の応急仮設住宅の候補地等となっている。		
	親水公園			H2	26	717.00									※利用人数不明	—		
	野外ステージ・野外ステージドーム			H5	23	352.99							津波浸水、河川(湊川)浸水、ため池浸水、土砂災害警戒区域のハザードによる影響はない。	施設へのアクセスがバリアフリーとなっていない	※利用人数不明	—		
	バーベキュー棟・炊飯棟			H5	23	200.36								施設へのアクセスがバリアフリーとなっていない	利用人数は減少傾向にある	—		
	人工スキー場管理棟	鉄骨		H6	22	252								建物2階へのエレベーターはない	稼働していない	—		
	しろとり研修センター			H15	13	266.20	1,811	7	42					入口部に段差はない	利用者は増加傾向にある	—		
	白鳥本町コミュニティセンター			H8	20	243.00								北面入口部に段差はないが、施設までの距離が長い	利用者が限られており、平成25年から平成27年にかけて利用人数は横ばいである	—		
	大内スポーツセンター	とらまるてびくろ体育館	RC2F	サブアリーナ	H3	25	4,775.49	69,261	15	100	3	3	A		入口部に段差はないが、施設までの距離が長い	利用人数は増加傾向にある		・雨天時の運動会等で利用されている。 ・広域避難場所に指定されている。
テニスコート(人工芝)		全天候型砂入り人工芝、6面	クラブハウス(木造コンクリート平屋)121.62㎡	H3	25	4,766.88	8,725	2	85	2	3	A		クラブハウスへのスロープがない	平成26年から平成27年にかけては増加傾向にある	・中学校テニス部の大会前の練習で使用されている。		
グラウンド(多目的広場)		花崗土	用具倉庫(鉄骨造)200㎡	H6	22	16,592.00	30,544	2	44	1	2	B			平成26年から平成27年にかけては増加傾向にある	・サッカー、イベント等に使用されている。 ・災害時の応急仮設住宅の候補地等となっている。		
大内野球場			管理棟60㎡、バックネット、観覧席、ダッグアウト、夜間照明設備	S55	36	10,637.00	6,751	1	60	1	1	D		多目的トイレがない 観覧席にスロープ等がない	平成26年から平成27年にかけては増加傾向にある	・災害時の応急仮設住宅の候補地等となっている。		
ゲートボール場(人工芝)		2面		H4	24	1,004.00	667	1	2	1	0	C	津波浸水、河川(湊川)浸水、ため池浸水、土砂災害警戒区域のハザードによる影響はない。		利用人数は減少傾向にある	—		
キャンプ場管理棟				H5	23	375.34								入口にスロープはなく、建物2階へのエレベーターはない 施設までの距離が長い	利用人数は減少傾向にある	・広域避難場所に指定されている。		
キャンプ場浴室棟				H5	23	36.10												
キャンプ場炊飯棟				H5	23	26.25												
キャンプ場計				H5	23	437.69	5,350	12	59							※利用人数不明	—	
冒険の森(アスレチック)				H5	23	4,251.90										※利用人数不明	—	
ファンシープラザ時計塔				H4	24	22.56												
人形劇場とらまる座				H4	24	997.22									入口部に段差はない	平成25年から平成27年にかけては増加傾向にある	・保育所等の遠足で使用されている。	
ミニチュア児童遊園				H4	24	472.90									入口部に段差はない	平成25年から平成27年にかけては増加傾向にある		
とらまる人形劇ミュージアム				H15	13	960.00								入口部に段差はない	平成25年から平成27年にかけては減少傾向にある			
とらまる図書館			H4	24	1,004.48									エレベーターが設置されている	平成25年から平成27年にかけては減少傾向にある	—		
合計							292,830											

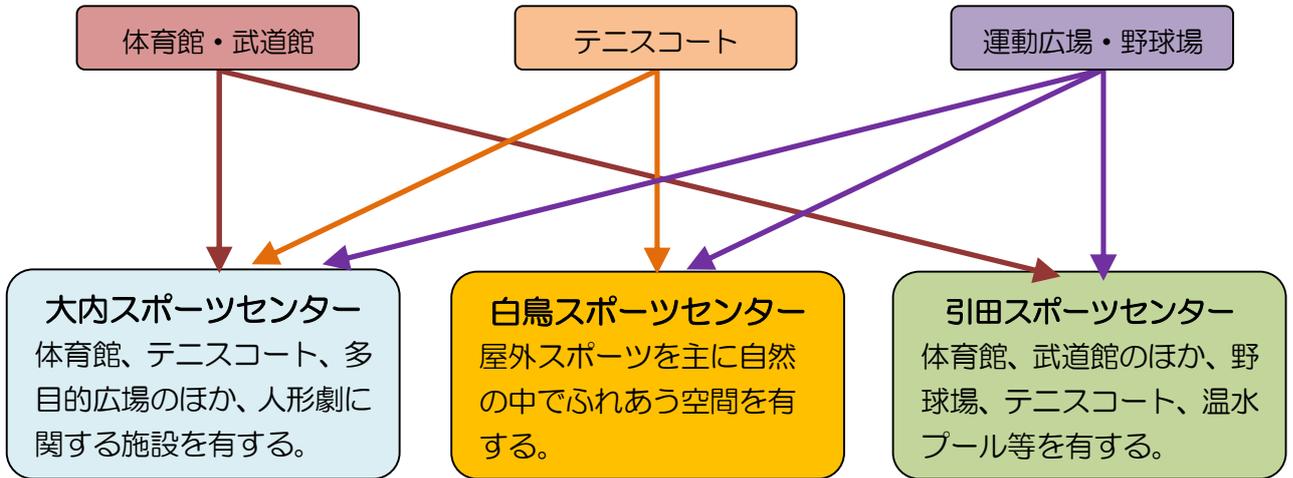
注：一次評価における建物の評価、機能・サービスの数値は、偏差値が50以上を示す項目の数である。

3 社会体育施設等マネジメント計画

(1) 最適化に向けた考え方

各スポーツセンターが有する「体育館・武道館」「テニスコート」「運動広場・野球場」については、利用状況等を考慮し、できるだけ同種の機能の集約化を図ることとします。

なお、ゲートボール場は、他の用途への転用等を検討します。



大内スポーツセンター	白鳥スポーツセンター	引田スポーツセンター
		
とらまるてびくろ体育館	白鳥中央公園体育館	引田飛翔体育館
		
テニスコート（人工芝）	テニスコート（人工芝）	引田運動広場
		
グラウンド（多目的広場）	グラウンド（多目的広場）	温水プール

(2) 再編方針、整備の方向性

各施設の再編方針は以下のとおりです。また、整備の方向性については、本計画期間の平成29年度から平成38年度までの10年間を前期（平成29年度から平成33年度）、後期（平成34年度から平成38年度）にて設定し、今後、取組んでいくこととします。

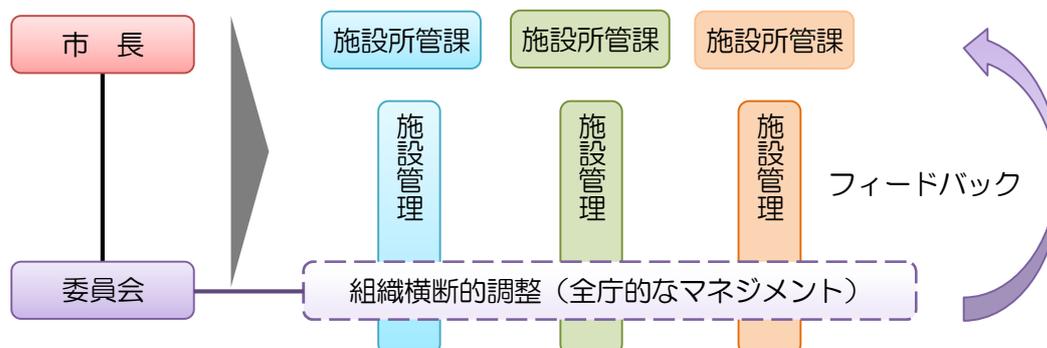
表 マネジメント基本計画における再編方針、整備の方向性

区分	施設名	再編方針	整備の方向性	
			前期（H29～H33）	後期（H34～H38）
引田スポーツセンター	引田飛翔体育館	存続		3施設を統合した機能で建替えを検討
	引田体育館	廃止	取壊し（耐震未了）	
	武道館	存続		
	小海体育館	用途変更		コミュニティ施設として用途変更
	引田運動公園テニス場（人工芝） ※付帯施設：クラブハウス	用途変更	パークゴルフ場拡張用地として用途変更を検討	
	引田テニス場（クレー）	存続		
	引田運動広場	存続		
	引田野球場	存続	ネット嵩上げ改修	照明・観客席等整備の検討
	温水プール	存続	建替えを検討	
	パークゴルフ場	存続	コース増設を検討	
	ゲートボール場	廃止	利用者と調整し廃止	
白鳥スポーツセンター	白鳥中央公園体育館	存続	学校施設等との関連を検討	
	テニスコート（人工芝） ※付帯施設：クラブハウス	存続		
	グラウンド（多目的広場）	存続		
	親水公園	存続		
	野外ステージ・野外ステージドーム	廃止		
	バーベキュー棟・炊飯棟	廃止		
	人工スキー場管理棟	廃止		
	白鳥本町コミュニティセンター	用途変更	研修施設等へ用途変更	
	しろとり研修センター	用途変更	テニスコートクラブハウスへ用途変更を検討	
大内スポーツセンター	とらまるてびくろ体育館	存続	施設改修を実施（衛生設備）	
	テニスコート（人工芝） ※付帯施設：クラブハウス	存続	拡張を検討	
	グラウンド（多目的広場）	存続	防球ネット、照明設備整備	
	大内野球場	廃止	企業誘致用地として売却	
	ゲートボール場	用途変更	テニスコート拡張用地として用途変更	
	キャンプ場管理棟	存続	施設改修を実施	
	キャンプ場浴室棟	存続	施設改修を実施	
	キャンプ場炊飯棟	存続		
	冒険の森（アスレチック）	存続	老朽遊具の撤去及び再整備について検討	
	とらまる図書館	用途変更	ｽﾎﾟｰﾂ施設への転用を検討	

4 マネジメントに向けた仕組みづくり

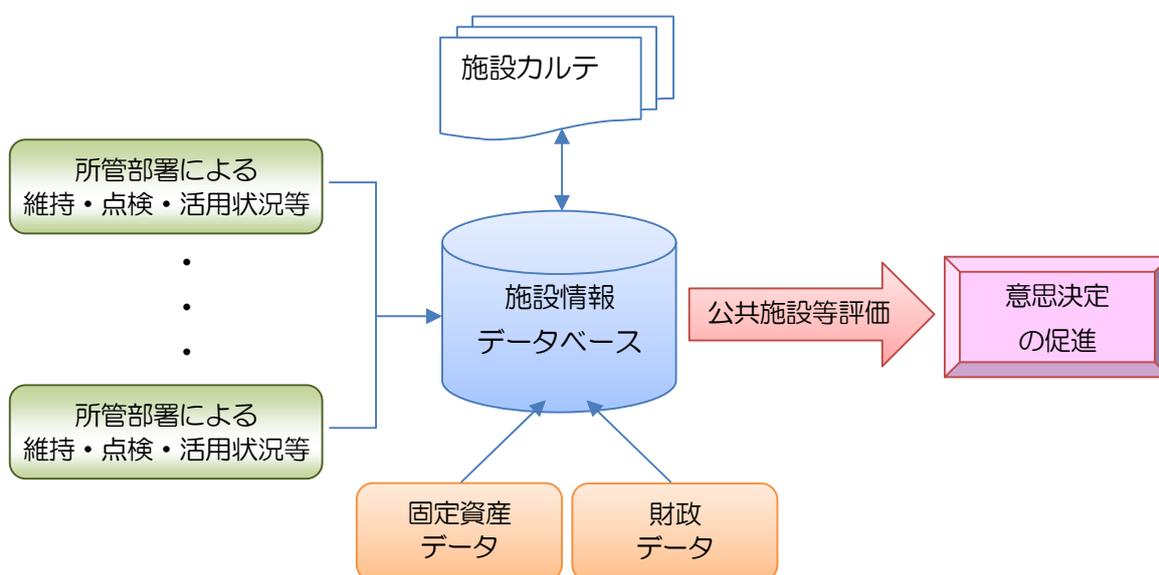
(1) 全庁的な取組体制の構築

今後、本計画と同様な施設分類毎の基本計画が策定されることが考えられます。削減量や削減の時期等は、全庁的な視点に基づき、設定していく必要があります。そのため、庁内各課の調整を緊密に図りながら、公共施設等全体に対する継続的なマネジメントを行います。



(2) 情報管理・共有方策

公共施設等のマネジメントを効果的に実施していくために、建築物の点検・診断結果の情報など、関係各部署に散在するデータをそれぞれの部門から収集するとともに、施設情報データベースとして一元管理し、固定資産データ及び財政データとも連携して全庁的な意思決定を促すための共通の情報として利用していきます。



(3) 方針・手順の明確化

全庁的な視点で施設再編の方針を設定するために必要となる基礎データは、統一された考えに基づき整理されることが必要です。

そのため、建築物の点検に際しては、調査項目の統一や調査結果に基づく老朽度等の判定が大きく異ならないようにすることが必要です。

また、建築物の評価においても、評価手法や評価項目については、建築物毎に異なるのではなく、同様の視点で評価が出来るようにします。

さらには点検調査、データの更新、評価等の実施時期など、これらの手順についても明確にします。

(4) マネジメントサイクルの構築

本計画では、以下に示すマネジメントサイクルを形成し、市民への理解や意向の把握に努め、市民との協働で公共施設等の総量縮減を含む再配置等を進めます。

